

KT師重賞本命と見解「京都牝馬・ダイヤモンド」

京都牝馬ステークス

最近の阪神芝 1400m の古馬混合重賞は
芝中距離指向の末脚が発揮しやすい馬場になりやすい。
よって父ディーブ系が圧倒的。

2020 年の阪急杯はベストアクターが 6 番人気 1 着。

2020 年の阪神カップはダノンファンタジーが 4 番人気 1 着、
マルターズディオサが 6 番人気 2 着。

2021 年の阪急杯はミッキーブリランテが 10 番人気 2 着。

2021 年のスワンステークスはダノンファンタジーが 1 着、
サウンドキアラが 5 番人気 2 着。

2021 年の阪神カップはダノンファンタジーが 3 着。

戦歴も中距離指向。
昨年も 1 着イベリス、2 着ギルデッドミラーが
芝 1600m 以上の重賞で 3 着内の実績があった馬。

本命はクリスティ。

ディーブ系の中でも非根幹距離適性に優れたキズナ。
クリスティ自身は芝 1600m 以上の OP での実績も豊富。

母系もクロフネ、フジキセキ。
短距離適性も秘める血統で、1400m の方がより走る可能性も。

ダイヤモンド S

米国指向のスピードの持続性に優れた血を持つ馬が有利。

過去 5 年で父米国型の出走はわずか 3 頭。

にも関わらず、2017 年にアルバートが 1 着。

2018 年にリッジマンが 5 番人気 2 着。

アルバート、リッジマンは父ミスプロ系。

昨年はメンバー中で唯一の父ミスプロ系(大系統)だった
グロンディオーズが 7 番人気 1 着。

人気薄で馬券になった父サンデー系(大系統)も母方に米国の血。

2020 年 16 番人気 1 着のミライヘノツバサ。

2018 年 6 番人気 3 着のソールインパクトはどちらも母父が米国型。

本命はカレンルシエルブル。

母父ハーツクライ。同種牡馬の産駒は過去 10 年で 8 頭が馬券に。
複勝率は 50%。

母系には当レースで重要な速いミスプロのアンブライドルズソング。
当レース向きの配合馬。